「会発足に伴う命名由来」

*六*・・・　「六次産業」を核とした、６つの行動規範を掲げる。

*成*　・・・　「結成・育成・創成・成長・成功・完成」６つの願いを込める。

一次産業・二次産業・三次産業の協力体制による地域ブランド化とサプライチェーン（商品流通・情報）の「農商工連携」を図り、同時に、生産者である一次産業者による「六次産業化」の構築を図る。

「６つの行動規範」

＃０１上昇思考「現状を受け入れ未来を肯定する」

未来をリスクと捉えるのではなく、現状を受け入れ上昇思考を持つ。

現状にあぐらをかいたり、あきらめたり、停滞した思考は一切持たず考えない。

我々は現状に甘んじることなくさらに、高みを目指す姿勢と思考で行動します。

＃０２自己開放「開放性ある思考で他者から学び自己成長に繋げる」

素直さと謙虚さを持ち、自身を認め他者を認めて思考行動ともに自己解放する。。

成長を止めて阻害する閉鎖的な思考や行動は排除し他者の優れた強みを柔軟に取り入れる。

固定概念や習慣に囚われることなく、自己開放性の高い思考で他者に学び実践します。

＃０３切磋琢磨「組織に公平な競争を生み出す」

公平性のある競争原理を働かせて、組織活性化のため切磋琢磨する。

組織内、味方同士において、試行錯誤を繰り返し良い意味で競争原理を働かせます。

今に甘んじることなく、常に改善改革を意識しながら同時に組織内で競い合うことで、

今より優れた商品とサービスを顧客に提供する組織研鑽意識で行動します。

＃０４家族品質「自らの家族や友人にも誇れる商品サービス」

大切な自らの家族や友人にも胸をはって出せる家族品質を提供する。

商品の出来不出来の判断は、自らの家族や友人に堂々と胸をはれることが出来る商品か否か。

誇りをもった商品開発と商品提供が出来る消費者ファーストで行動します。

＃０５自律行働「自ら考え己を律し職責を果たす」

他人に言われるでなく自ら考え己を律して職責を果たす自律行働の精神を重んじる。

個の成長なくして組織の成長なし、組織の成長は個々一人一人の成長の集大成とも言える。

己の職責を果たして、組織成長に繋がる自律行働の精神で行動します。

＃０６可能思考「どんな時でも成せば成る前向き思考」

難題や課題に向き合ってこそ人は成長する可能思考の人間性を創造する。

なぜできないかを考えるのではなく、どうしたらできるかを考える思考にこそ可能性は存在する。

何事も成せば成るという可能思考を忘れず、組織を牽引するリーダシップ精神で行動します。